

黒川翠山、京都を撮る

—古写真の世界—



保津川下り

くろかわすいざん
黒川翠山(1882~1944)は、明治から昭和にかけて活動した京都出身の写真家です。翠山は、生涯を通じて、京都はもちろん、滋賀や奈良、富士山や日光など各地の名跡・名勝を撮影しました。

昔の写真はフィルムでなく、「ガラス乾板かんばん」といってガラスに薬品を塗ったものに撮影をしていました。京都市歴史資料館では約900点の翠山のガラス乾板を所蔵しており、このたびその全てをデジタル化しました。今回、その一部をパネルとしてご紹介いたします。



大原女

会期 令和6年2月22日(木)
3月28日(木)
場所 京都市役所
分庁舎1階ロビー

無料

土・日・祝日閉庁